



進 取

令和5年度第8号

令和5年11月24日(金)
霧島市立陵南小学校

子どもたちの自尊感情を育てたい！

校長 深川 光久

11月1日から7日は、毎年県民週間として学校を開放して、保護者や地域の皆様に日頃の様子を見ていただいております。今年の県民週間もたくさんの皆様に来校していただき、有り難うございました。学校の様子を見ていただき、今後ともご協力をお願いします。さて、今月は、自尊感情について考えてみたいと思います。1学期のPTA総会の時に、今年の学校経営グランドデザインを配布し、その望む保護者像の中に「自己肯定感の涵養」と書きました。涵養とは、水が自然としみこむように、ゆっくり育てるということです。

自尊感情（自分を大切に思う気持ち）は、子どもたちが心身共に健やかに成長していくためには大事な感情であると言われていています。対人関係をうまく対応できたり、健康な精神状態を維持できたりするためにも重要な感情だと言われていています。

自尊感情には、2つありどちらも大切であると言われていています。「社会的自尊感情」と「基本的自尊感情」です。

「社会的自尊感情」

よく子供は褒めて伸ばすと言います。たくさん褒めてくださいと教師も言うと思います。何かができ、褒めてもらえることで育つのは「社会的自尊感情」と言われます。成功体験で褒められることにより、自分に自信を深めていきます。しかし、この自尊感情は一時的であり、褒められなかったり、失敗したりすることによりしぼんでしまうことがあります。褒めることは大切ですが、これだけでは足りないということになります。

「基本的自尊感情」

誕生したときに、温かい手に抱かれた幸せな思いは、誰もが心の中に「心のたからもの」として残ってるものだそうです。そして、それをさらに強化していくのが「共有体験」です。家族や友達と同じものを見て、「面白いなあ、楽しいな。悲しいな。」など感情を共有していく体験が重要だそうです。そうしてできあがっていく自分はこれでいいんだと思える感情が「基本的自尊感情」です。

人間関係の2つの関係 「向き合う」と「並ぶ」

この世に生まれた赤ちゃんは、正面から保護者に見られ愛情を感じていきます。「向き合う」関係です。そして、同じものを見て、同じ感情を共有する経験は「並ぶ」関係です。一緒に並んで見ることは生後6か月頃からできるそうです。そこからは、「並ぶ」関係は人間関係を深めるためとても大切です。

このように考えると、一緒に並んでご飯食べたり、家族で横に並んでテレビや映画を見て、笑ったり泣いたり感動したりすることも大事な共有体験と言えます。ペットや家族が亡くなりそれを見送る悲しい体験も、横に並んで感情を一つにします。一緒に布団に入って、絵本の読み聞かせをするときなどまさしく共有体験になりますね。**横に並んで、お子さんと感情を同じくする時間を大切に**して、いいところをどんどん褒めてください。

学校では、運動会で同じチームを応援し、勝って一緒に喜んだり、負けて一緒に悲しんだりします。そのときに必ず友達が横にいて並んでいます。音楽の時間には、一緒に合唱や合奏をして、一つにまとまる感覚を体験します。3年生や4年生のように、大きなステージで発表する時は、友達が隣にいて、一緒に緊張して、終わったら一緒にほっとして、一緒に喜び合います。授業中は机を横に並べていますから、感動があればいつでもそれを共有していることになります。あらゆる機会でも学校でも共有体験は行われています。これから、寒くなる季節です。温かい家の中で、家族の共有体験ができるといいですね。

子どもたちが自尊感情を高めていくためには、「社会的自尊感情」と「基本的自尊感情」の両方が大切です。褒めることと共有体験を意識して、子育てを楽しめたらいいですね。

素話で、すてきなお話を聞きました。

10月14日(土)、23日(月)は、「りんごの木」の皆さんが来校され、子どもたちにお話を聞かせていただきました。

子どもの方をしっかりと見ながら、語りかけるように話されました。子どもは夢中になり、しっかりと話を聞くことができました。

落ち着きたい時間を過ごせました。別日に職員による読み聞かせも行いました。



幼稚園、保育所との交流

(3年生)

10月20日(金)は、陵南幼稚園や空港わらべ保育園の皆さんをお招きして、交流を行いました。

体育館で、計画したグループごとに園児の皆さんとレクリエーションを楽しみました。

交流した3年生は、しっかりお姉さん、お兄さん気分になり、優しく接することができました。



小中合同研修会を実施しました！

11月6日(月)は、小中合同研修会を本校で実施し、陵南中学校の先生方が本校に来られました。

1年生から6年生までのすべての学年の授業を参観し、その後、学力向上、保健体育、生徒指導、特別支援教育の部会に分かれて部会を行いました。

1小、1中のよさを生かし、今後も情報交換をしながら、連携していきます。



12月の行事

- 1日(金) P登校指導 持久走大会
学級PTA、学校保健委員会
読書会
- 4日~9日 人権週間
- 5日(火) 人権集会
- 6日(水) 持久走大会予備日
- 7日(木) 図書貸出最終日
- 8日(金) 図書返却期間~15日
- 9日(土) 門松作り・餅つき(おやじの会)
- 14日(木) 移動図書館
- 18日(月) 冬休み図書貸出期間(~21日)
- 22日(金) 終業式
- 28日(木) 仕事納め

収穫の秋来る！・・・2年芋掘り、5年稲刈り

2年生は、生活科で学級園に植えていたサツマイモを掘りました。立派なサツマイモが出てきて、子どもたちは大喜びしました。後日、焼き芋にして、お芋パーティーを開きました。

チャレンジタイムで5年生がこれまで取り組んできた米作りもいよいよ終盤となりました。運動会終了頃から、実った稲もどんどん重くなり、頭を垂れておりました。子どもたちはネットを張り、かかしを立ててスズメ対策もしていました。今年は天候にも恵まれ、なかなかの収穫だったのではないかと思います。田植えの時と同じように、玉利老人会の皆様が、稲の刈り方や結び方を子どもたちに教えてくださいました。初めて、稲刈りを体験した子どもも多かったらと思います。脱穀して最後は、餅つきをする予定のようです。

ささやかな農園ですが、子どもたちに秋の収穫の喜びを味わわせることができました。

